Scrum Fest Niigata 2022

時間がない症候群

~その傾向と対策~

2022.05.21 株式会社ナビタイムジャパン 小田中 NAVITIME

小田中 育生 (おだなか いくお)

(株)ナビタイムジャパン VP of Engineering ACTS(研究開発) ルートグループ責任者

経路探索の研究開発部門責任者としてGPGPUを活用した超高速エンジンやMaaS時代にフィットしたマルチモーダル経路探索の開発を推進

移動体験のアップデートに携わりながら、VPoEとしてアジャイル開発の 導入推進、支援を行う。

札幌生まれ、新潟育ち。餅は田中屋本店、酒は〆張鶴。

著書「いちばんやさしいアジャイル開発の教本」インプレス



Learning Outcome

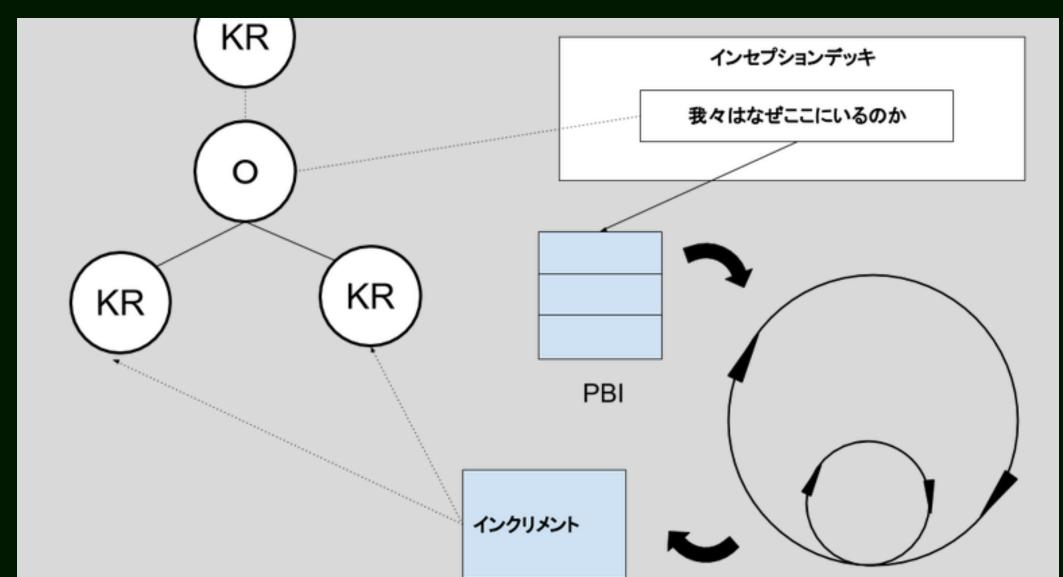
- 「時間がない」の発生源を特定できる
- 「時間がない」からの脱却方法がわかる

私はなぜここにいるのか

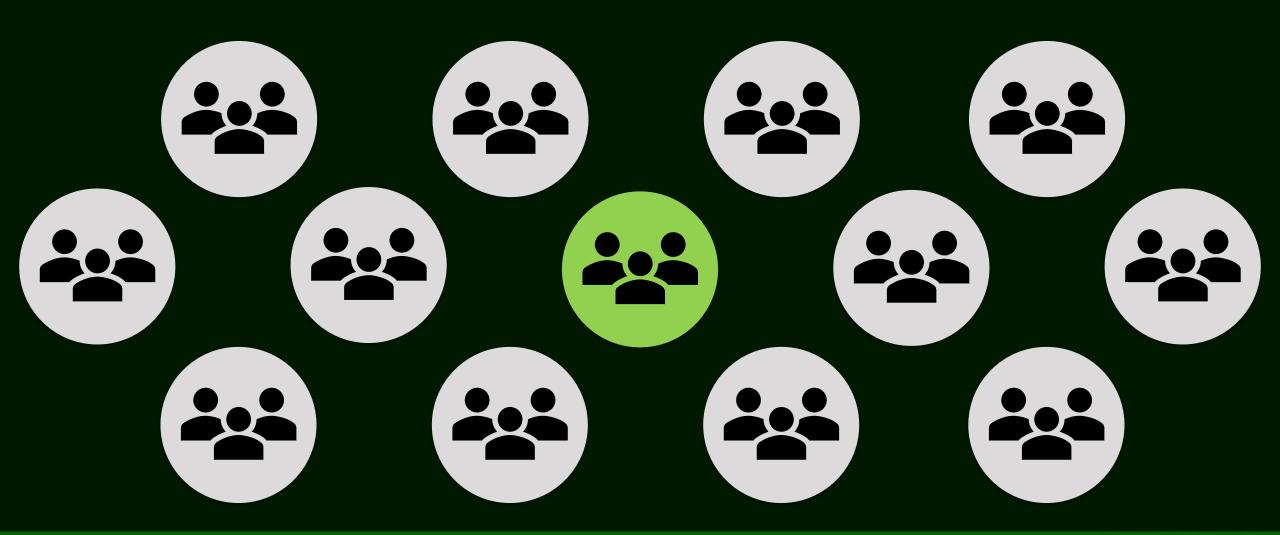
世の中の移動をもっとなめらかにしたい。 できることなら事故をなくしたい。 そのための組織をつくりたい。



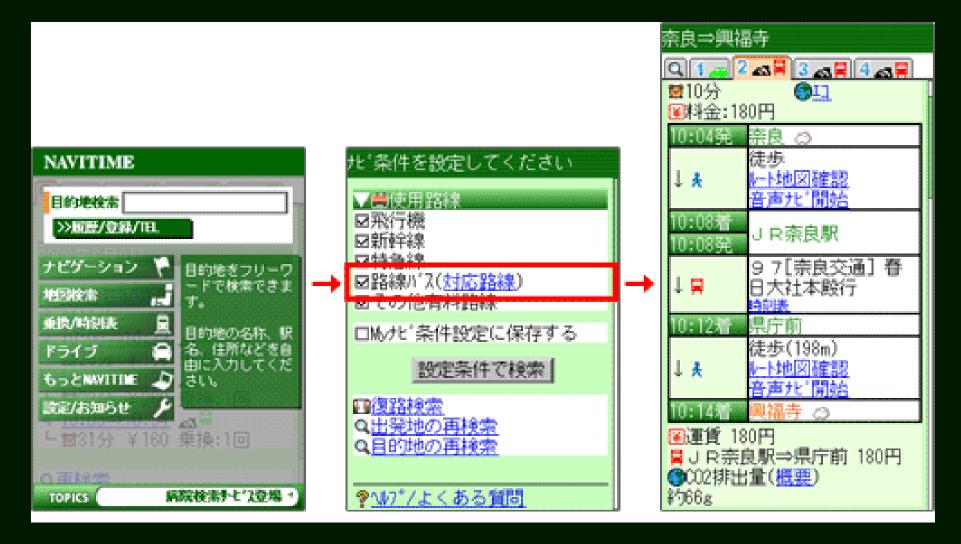
左手にOKR、右手にアジャイル



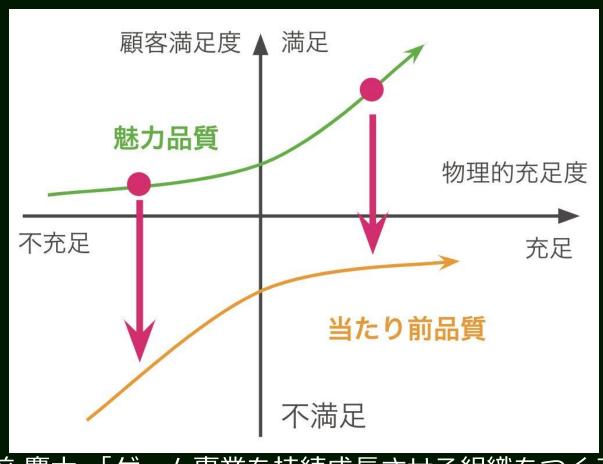
OKRもアジャイルも 自分たちのために自分たちで始めた



かつては「ケータイでナビができる」だけでも魅力的なプロダクトだった

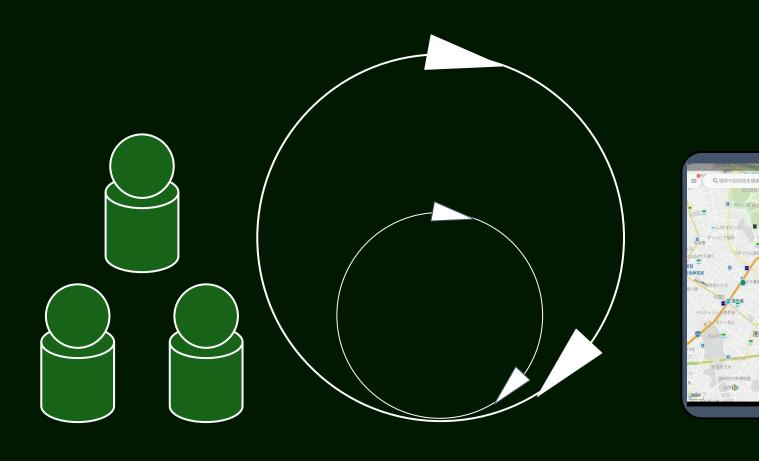


いまでは「スマホでナビ」は当たり前

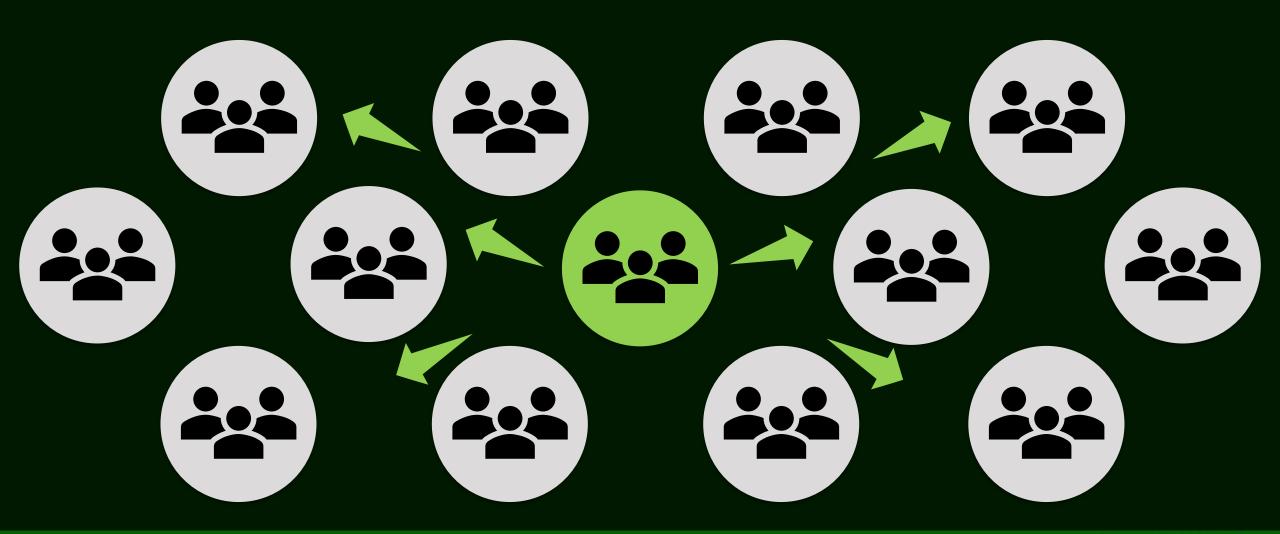


湯前 慶大 「ゲーム事業を持続成長させる組織をつくる」 Agile TECH EXPO New Normal Agile Episode1 2021/1/23 より

市場の変化、市場からのフィードバックに素早く反応する重要性が増した



そうした背景もあり、アジャイル導入の 機運はそこかしこで高まっている



ニーズに応えた社内向けアジャイル研修

社内アジャイル開発研修を受講した話

09





こんにちは、ネコ派メタラーです。ナビタイムジャパンで地点検索基盤の開発マネジメントを担当しています。

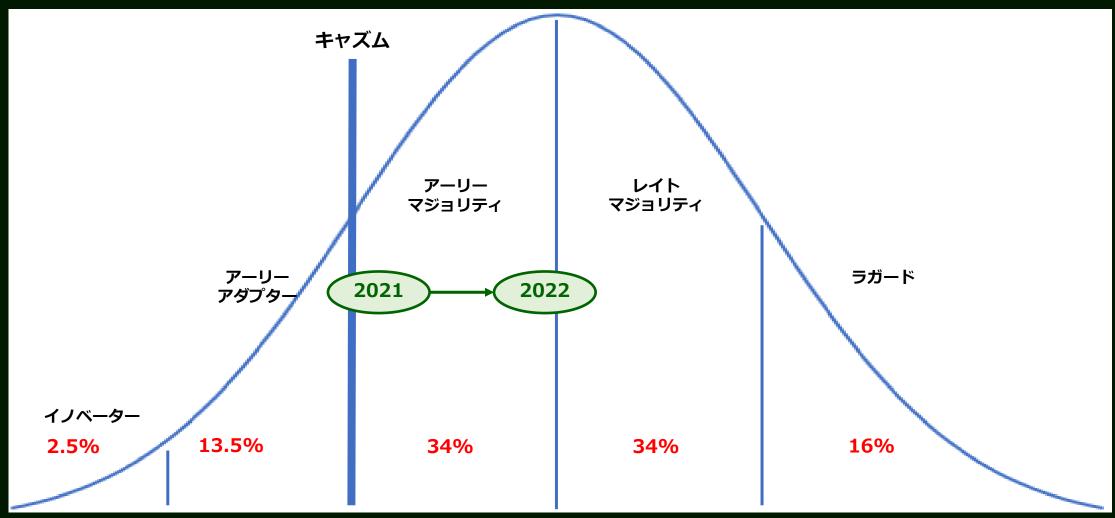
先日、当社で「Agile Starter Kit」と題して、アジャイル開発に関する社内研修が実施されました。本稿では、受講者として参加した私の目線で、この研修で学んだこと、その後の業務への影響をお話しします。

研修が実施された経緯や内容については、弊社 <u>メタル先輩</u> が Scrum Fest Osaka 2021 で発表しています。スライドも公開されておりますので、ご覧い

https://note.com/navitime_tech/n/n76dada8391c9



確実に変化は広がっている



ナビタイムジャパンにおけるアジャイル開発実践率の推移

このまま順調に広がっていく?

変化を広げていく中で上がる声

インセプションデッキ やってみたいんですが なかなか時間とれないんですよね 進めたほうがよいのは わかってるけど、時間が、、 というのが正直なところです。。。

やるべきことをやる 時間がとれなくなったら 困る ふりかえりの時間をとるのが もったいなく感じる

「時間がない」「時間をとりたくない」 という声が少なくない

インセプションデッキ やってみたいんですが なかなか時間とれないんですよね 進めたほうがよいのは わかってるけど、時間が、、 というのが正直なところです。。。

_<u>やるべきことをやる</u> 時間がとれなくなったら 困る ふりかえりの時間をとるのが もったいなく感じる

「時間がない」と言われがちな場面

読書会やるから参加してみない?

今度の週末勉強会あるんだけど、どう?

テスト書こう

リファクタしよう

ふりかえりやりませんか

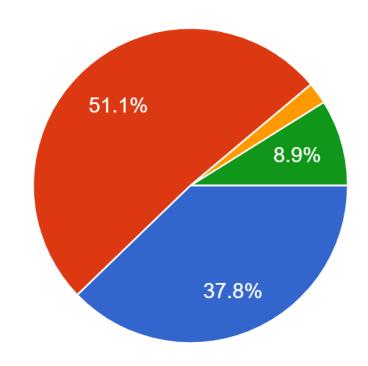
VSMやってみましょう

スクフェス新潟に参加している 皆さんに質問です

「時間がない」と 感じることはありますか

ナビタイムジャパンでのアンケート結果

仕事をしていて「時間がない」と感じることはありますか 45 件の回答

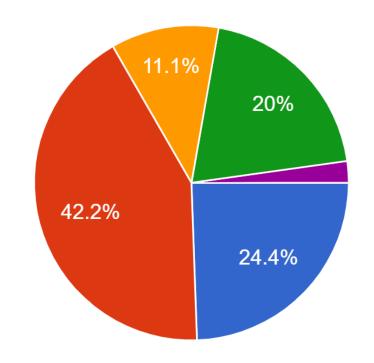


- かなりある
- まあまあある
- どちらでもない
- あまりない
- ぜんぜんない

新しいことを始めたいけれど 「時間がない」ことを理由に あきらめることはありますか

ナビタイムジャパンでのアンケート結果

新しいことを始めたいけれど「時間がない」ことを理由にあきらめることはありますか 45 件の回答



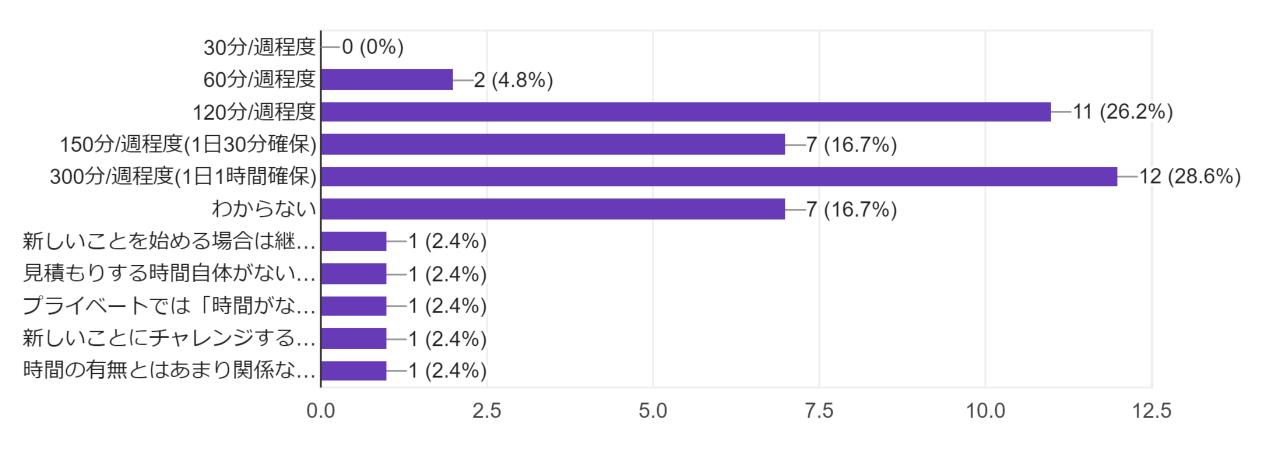
- かなりある
- まあまあある
- どちらでもない
- あまりない
- ぜんぜんない

「時間がない」と感じることで新しいことを諦めている人達がいる。

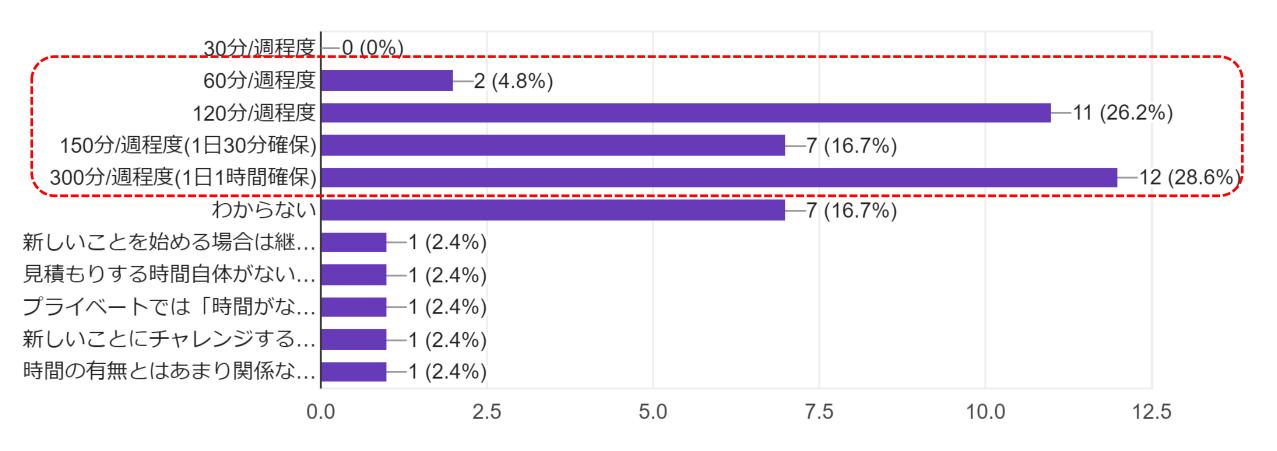
「時間がない」って、なんだろう。

どの程度の時間があれば 新しいことにチャレンジできる?

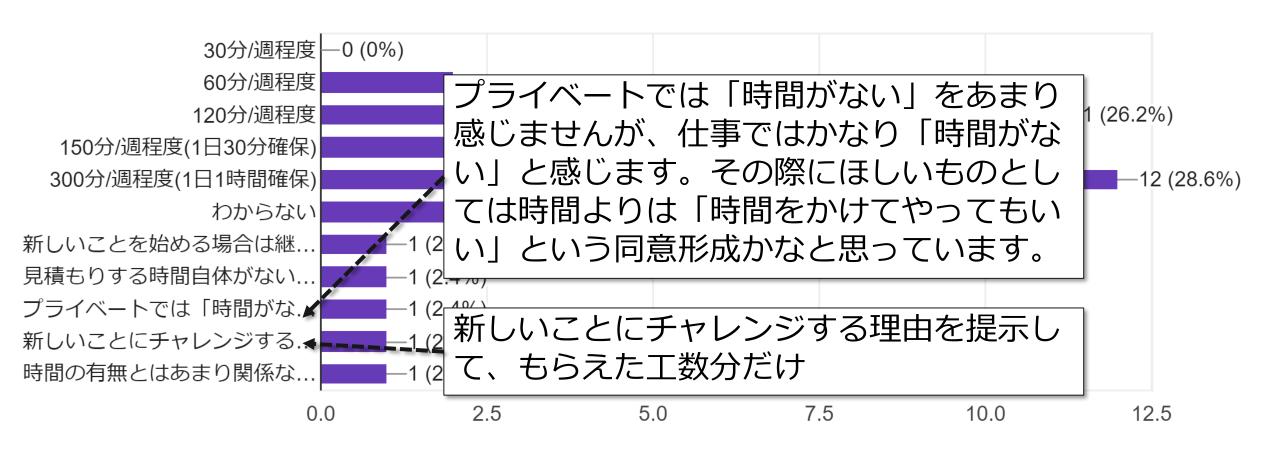
ナビタイムジャパンでのアンケート結果



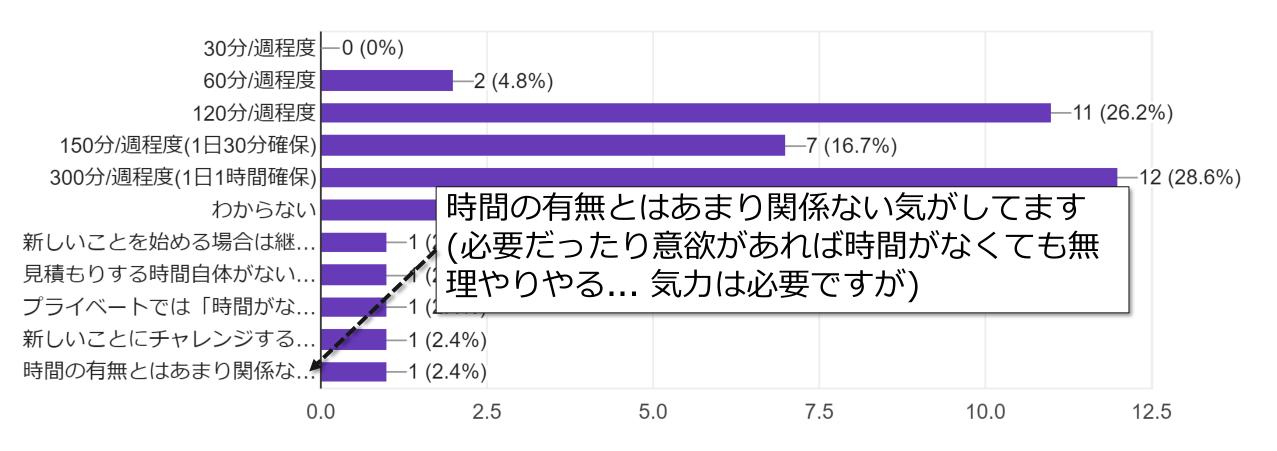
一日一時間程度とれればよさそう、という人が多い



チャレンジには承認が必要だと考える人もいる



時間ではなく意欲ありきだ、という回答も



「時間がない」の本当のところ

文字通り時間がとれない

時間をかけてよいか わからない

> それに対する 意欲がない

本当の理由の見分け方

文字通り時間がとれない

時間をかけてよいか わからない

> それに対する 意欲がない

必要な時間が具体的に提示できる 予定がパンパンに詰まっている 残業が常態化している

本当の理由の見分け方

文字通り時間がとれない

時間をかけてよいか わからない

誰かに承認を求める発言がある 承認があればやってみたいそぶり

それに対する 意欲がない

本当の理由の見分け方

文字通り時間がとれない

時間をかけてよいか わからない 必要な時間に対しての回答が曖昧 「うち(自分の組織)には合わない と思うよ」といった発言

それに対する 意欲がない

「時間がない」からどう脱却する?

文字通り 時間がとれない



「時間」を捻出するには?

時間をかけてよいか わからない



時間をかけてよいという確信を得るには?

それに対する 意欲がない



それに取り組みたい、と思ってもらうには?

文字通り 時間がとれない



「時間」を捻出するには?

時間をかけてよいか わからない



時間をかけてよいという確信を得るには?

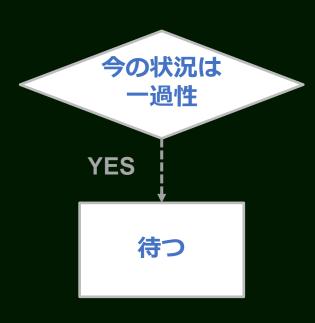
それに対する 意欲がない



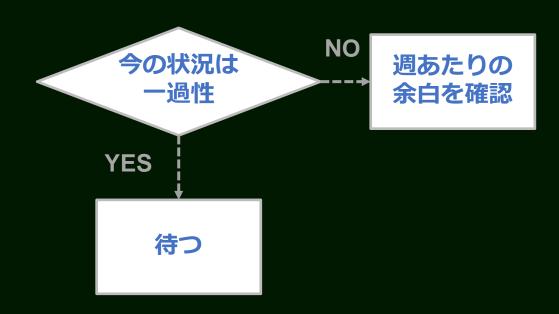
それに取り組みたい、と思ってもらうには?

「時間がとれない状況はいつ頃終わりそうですか」

一過性の「時間のなさ」なら待つのも手



恒常的に時間がないなら現状の余白を確認



必要だと思うだけの時間が余白にあるか



あれ?余白あるなら もうすでにできるはずなのでは!?

余白が不連続で作業に取り組みづらい

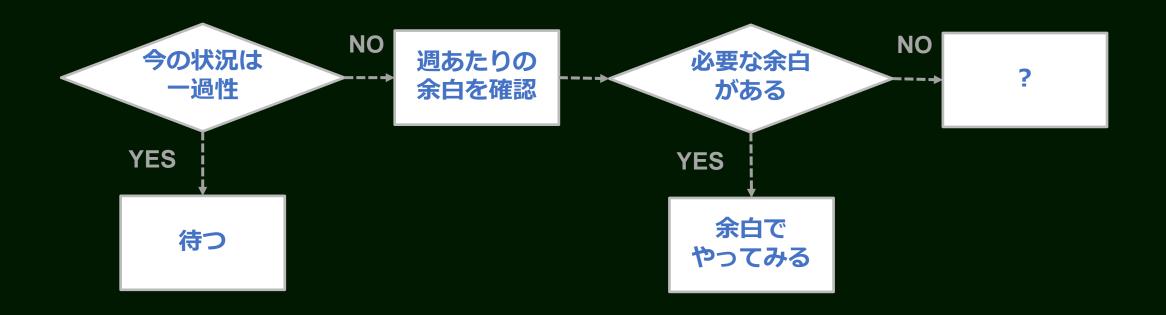


予定をずらすことを提案してみる





余白がなかったらどうしよう



すごくパンパンかもしれない



まずは予定を調整して余白を連続的にする





そのうえで予定も減らす



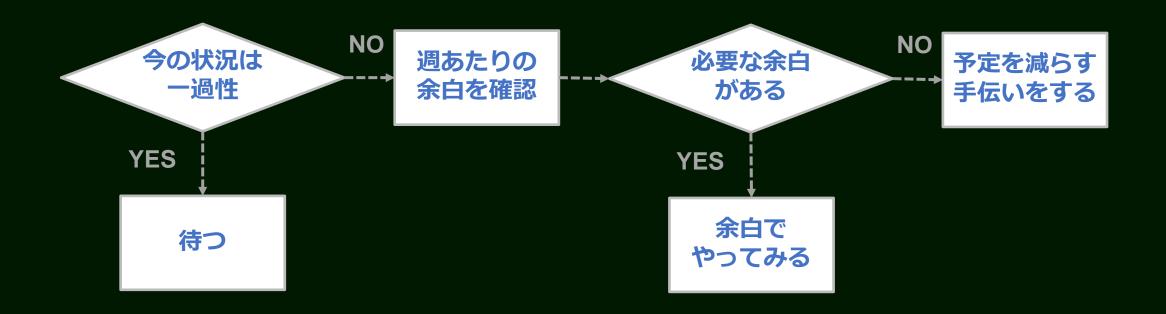


減らした上で調整すると余白が生まれる

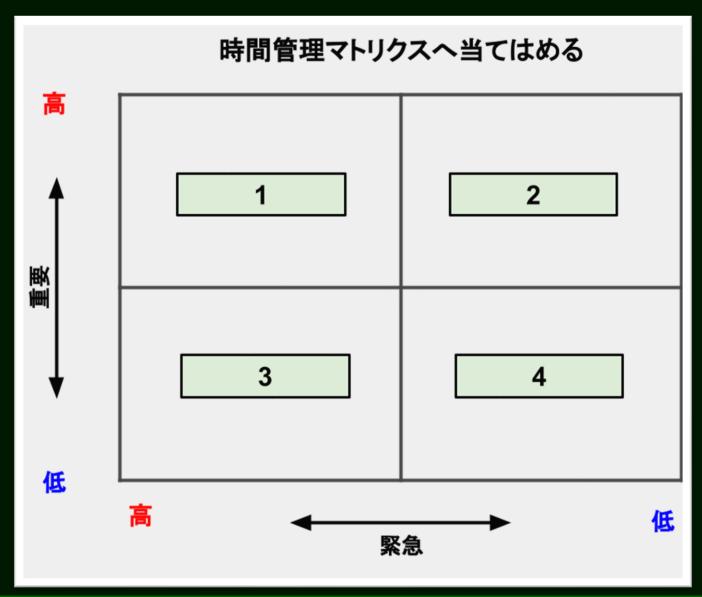




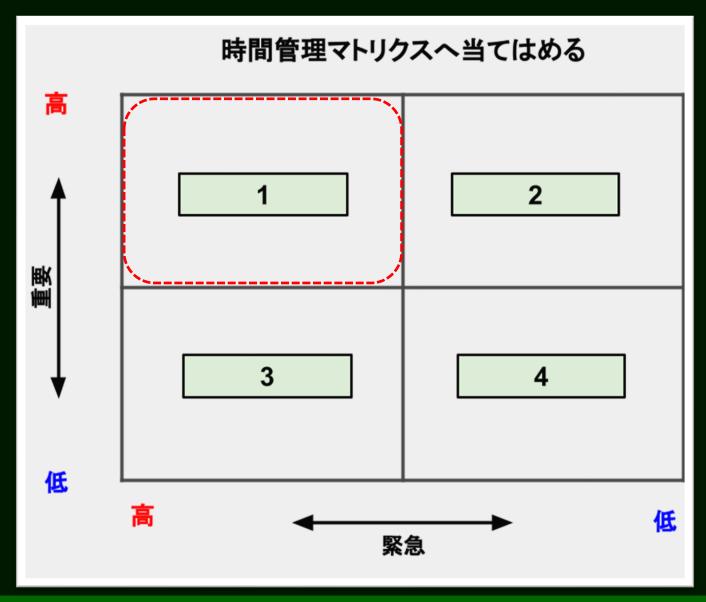
予定を減らす手伝いをする



予定の重要度緊急度を明らかにする



「全部重要で緊急なんです!!」

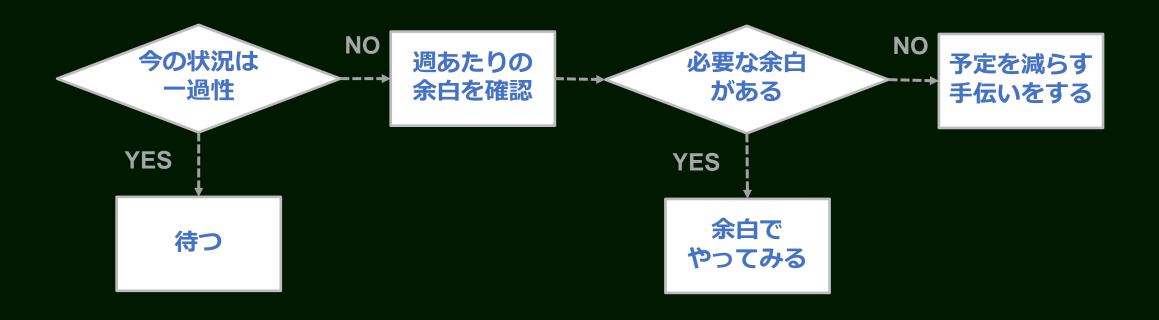


重要度と緊急度を見える化するための問い

- これを今やると得られるものはなんですか?
- これを今やらないと何を失いますか?
- これを放っておくとどうなりますか?

これらの問いに対して答えが明確じゃないものは、思い 切って一度やめてみる。

タイムマネジメントとタスクマネジメント で「時間がない」から脱却



文字通り時間がとれない



「時間」を捻出するには?

時間をかけてよいか わからない



時間をかけてよいという確信を得るには?

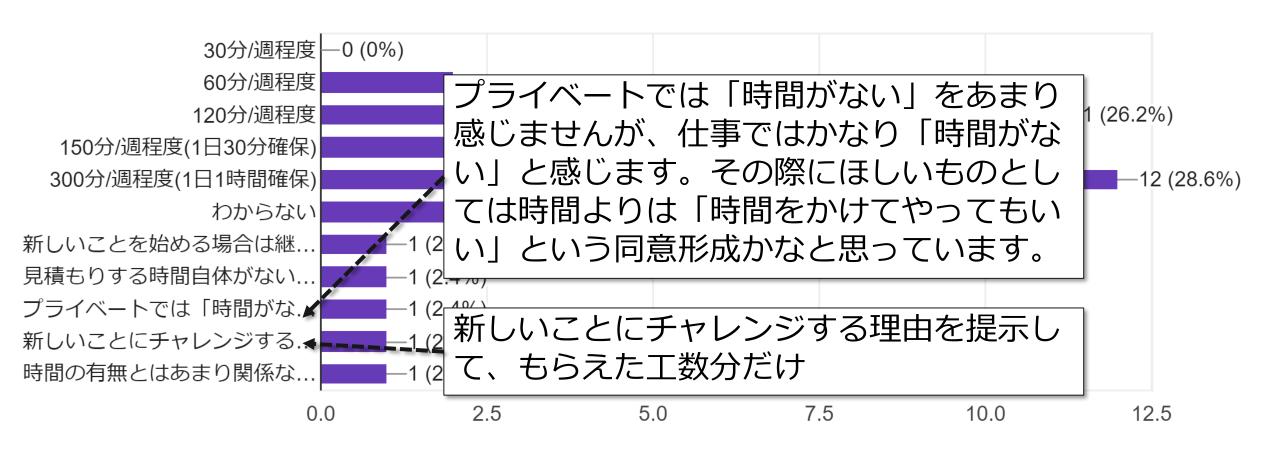
それに対する 意欲がない



それに取り組みたい、と思ってもらうには?

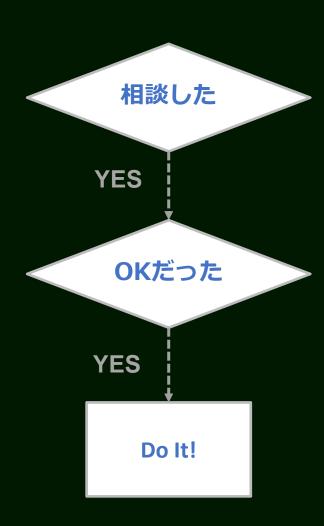
チャレンジには承認が必要だと考える人もいる

42 件の回答



「やってもいいか判断を仰ぎたい相手に相談してみましたか」

すでに相談してOKが出ている場合



OKが出ているけど出来ない?

やり方がわからないかもしれない

学習には5段階のレベルがある

※NLP(神経言語プログラミング)より

意識的&無意識的有能 教えることができる

無意識的有能 考えなくてもできる

意識的有能考えるとできる

<u>意識的無能</u> 知っていてもできない

無意識的無能知らないしできない

やり方がわかるまで伴走する

- 推進者であるあなたは教えることができる ステージにいる可能性が高い
- そうでなくても、相手よりは高いステージ
- 件走して、「考えるとできる」まで 引き上げる

意識的&無意識的有能 教えることができる

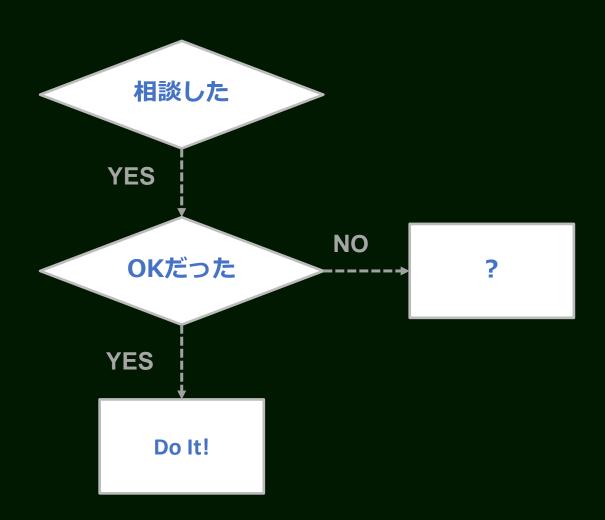
無意識的有能考えなくてもできる

意識的有能考えるとできる

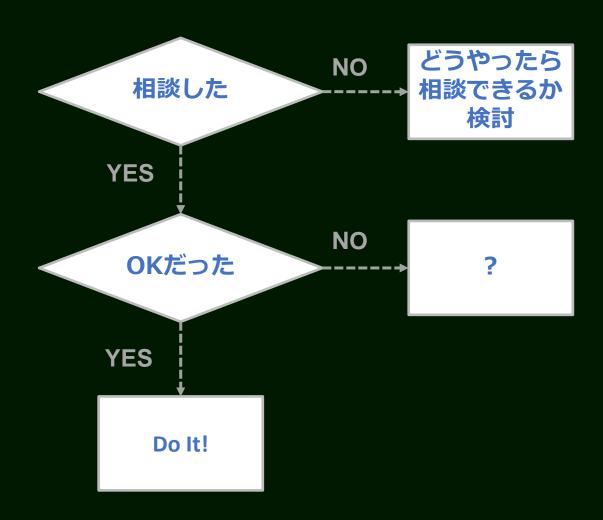
<u>意識的無能</u> 知っていてもできない

無意識的無能知らないしできない

ここはあとで話します



まだ相談していないなら どうやって相談までもっていくか検討



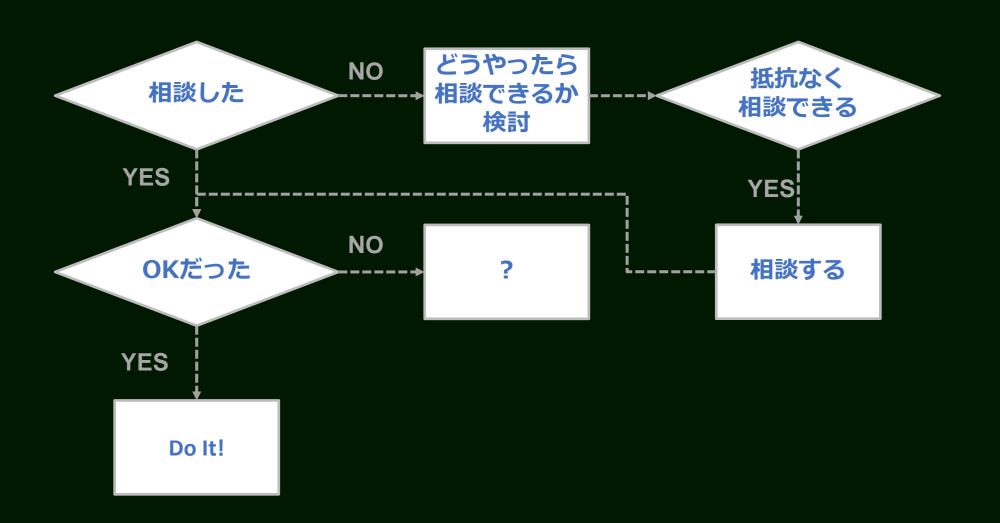
いま時点で相談できていない原因はどこにあるのか

「聞いてみたら?」

「聞いてみたら?」に対して 実際にもらったことのある回答

なるほど、そうですね!

相談できるなら相談する

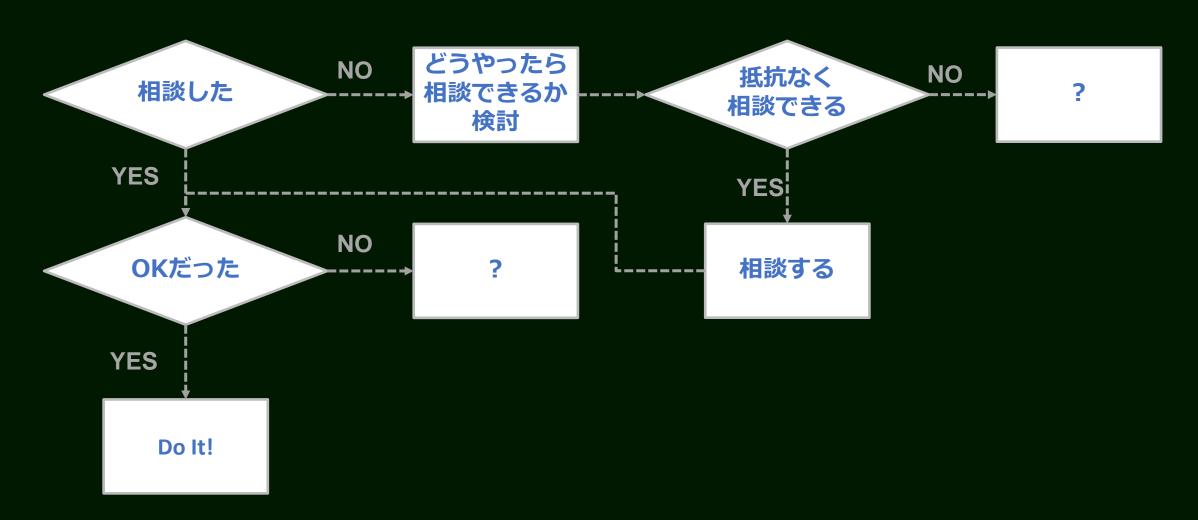


「聞いてみたら?」に対して 実際にもらったことのある回答

なるほど、そうですね!

聞きづらくて...

相談できないときはどうしたらいいのか



不安や経験がためらいにつながっている

なるほど、そうですね!

聞きづらくて...

断られたらどうしよう

以前相談して 断られた経験

不安や経験からくる躊躇いへのアプローチ

- 1. 推進者が相談に同行する・相談を代行する
- 2. 安心して相談できる心理的安全性をチームに醸成する

不安や経験からくる躊躇いへのアプローチ

- 1. 推進者が相談に同行する・相談を代行する
- 2. 安心して相談できる心理的安全性をチームに醸成する

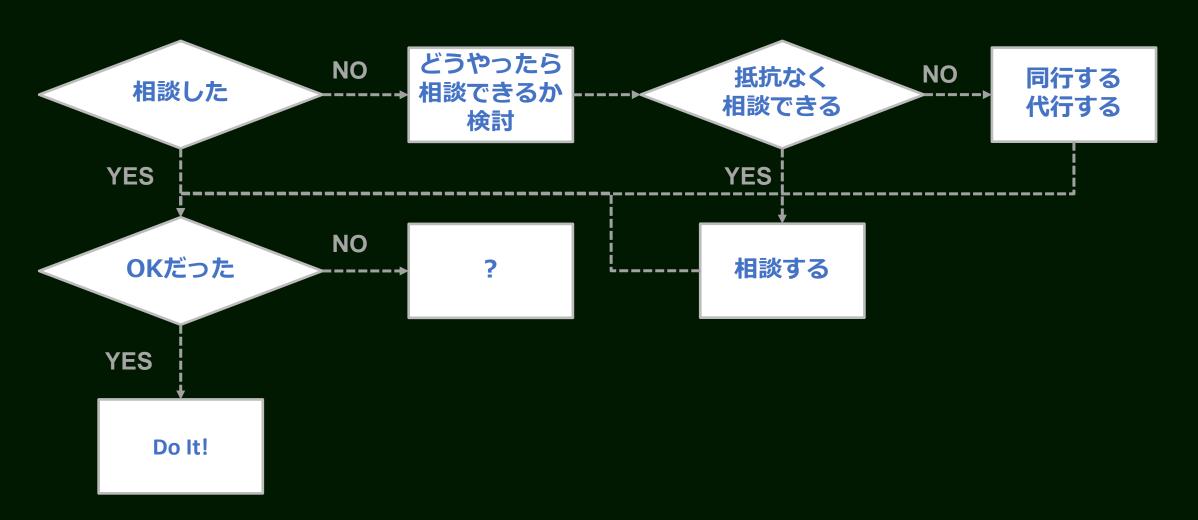


2ができると望ましい。 けれど1のアプローチを取ることが多い

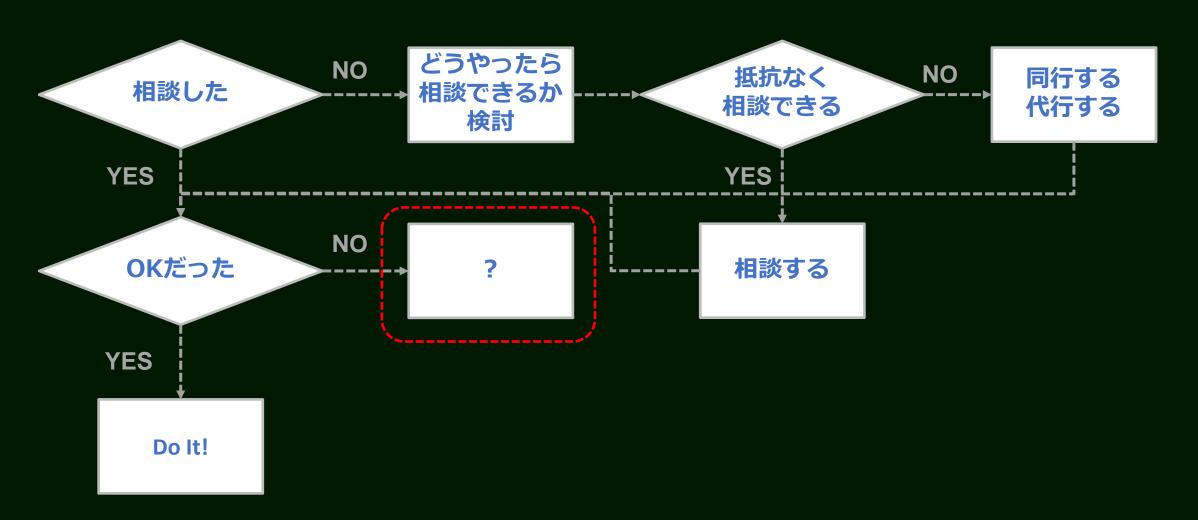
なぜ心理的安全性の醸成を選択しないか

- その状態であることはもちろん望ましい
- しかしその道のりは決して平坦なものではない
- 当座の課題である「相談できない」の解決を優先
- 相談代行で成功体験を得ることで、結果的に心理的安全性が 高まることもある

最終的に相談の導線に乗せられればよい



NOと言われたら?



NOと言うならば、それを やるべきだとは思っていないはず

文字通り時間がとれない

時間をかけてよいか わからない

> それに対する 意欲がない

文字通り時間がとれない



「時間」を捻出するには?

時間をかけてよいか わからない



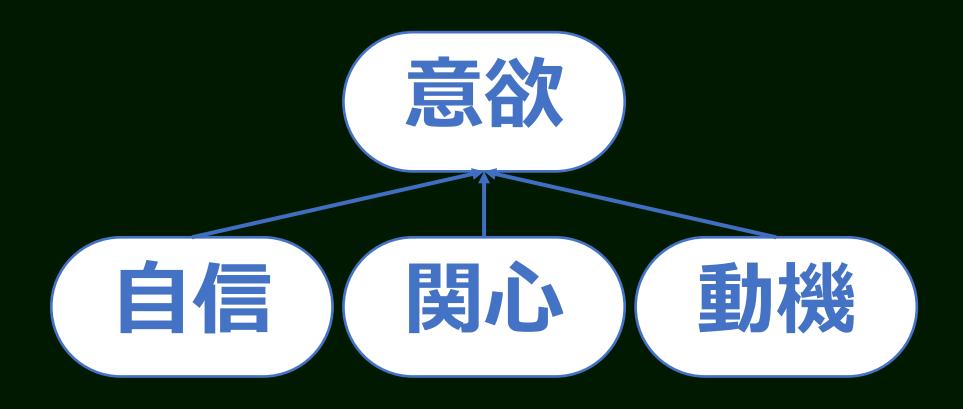
時間をかけてよいという 確信を得るには?

それに対する 意欲がない



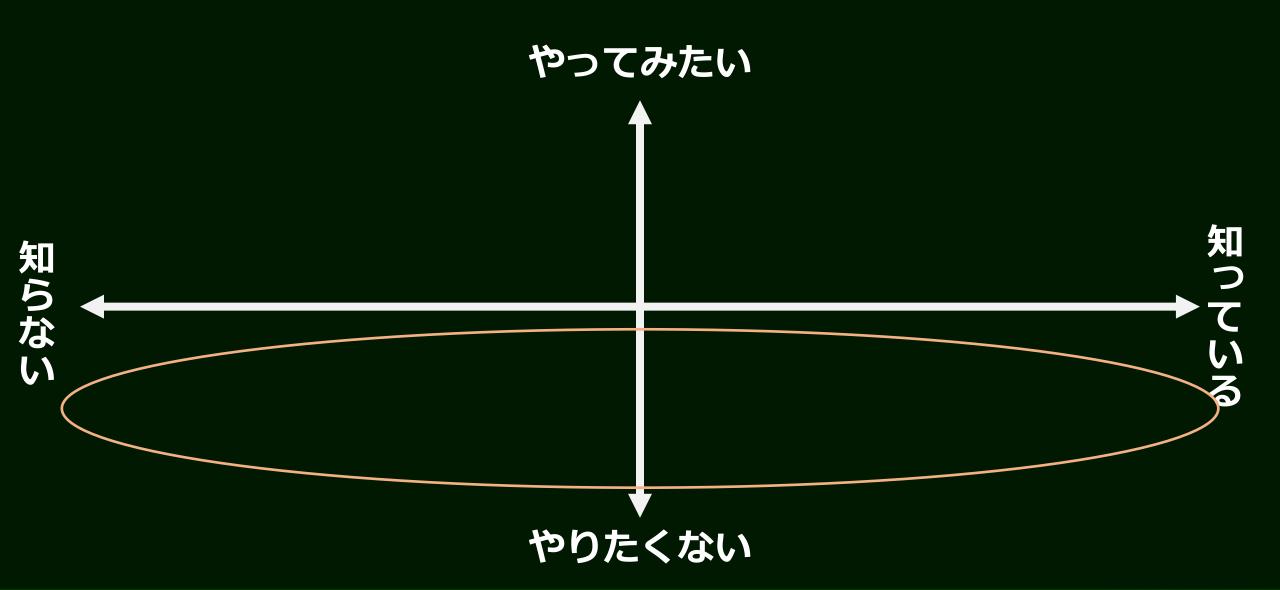
それに取り組みたい、と思ってもらうには?

意欲を支える3要素

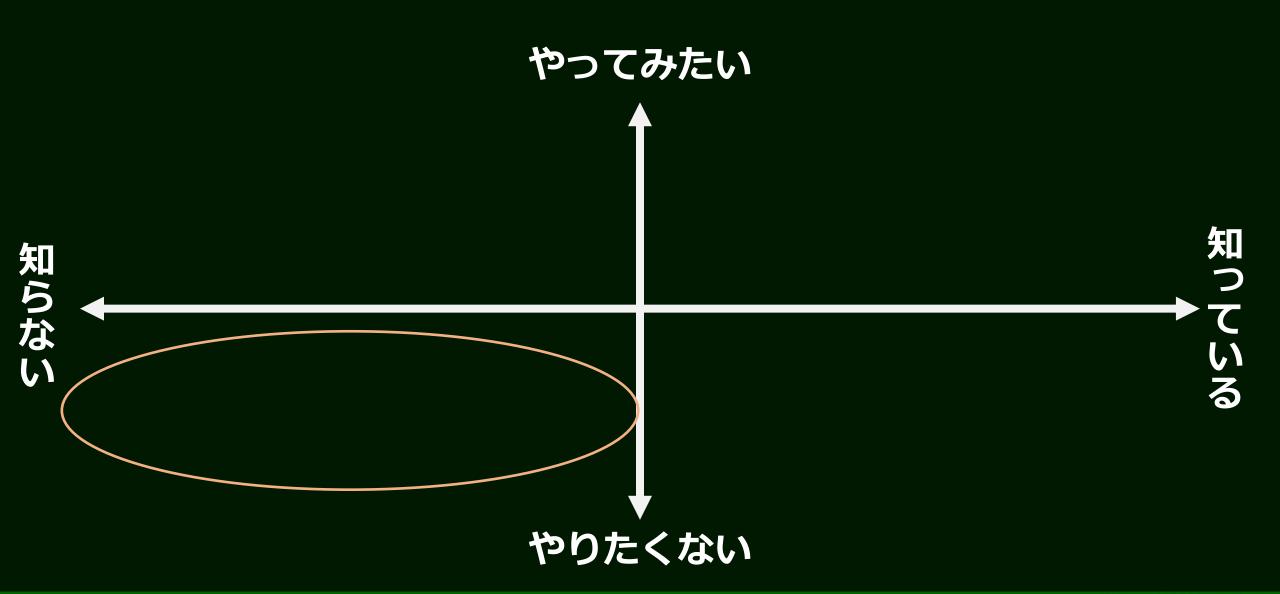


過去に受講したSL(シチュエーショナルリーダーシップ)理論研修のメモより抜粋

知らないか、知っていてもやりたくない



知らなければ関心、動機はない

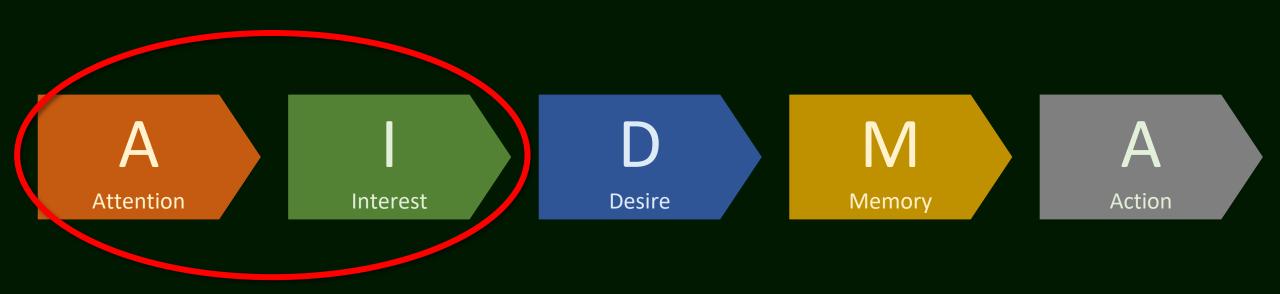


「〇〇を知っていますか」

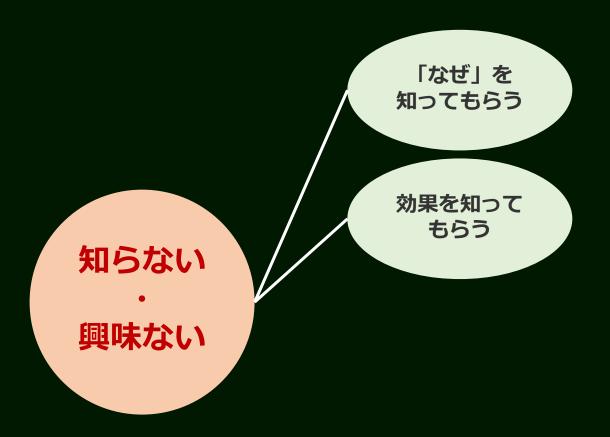
知らないなら、知ってもらう



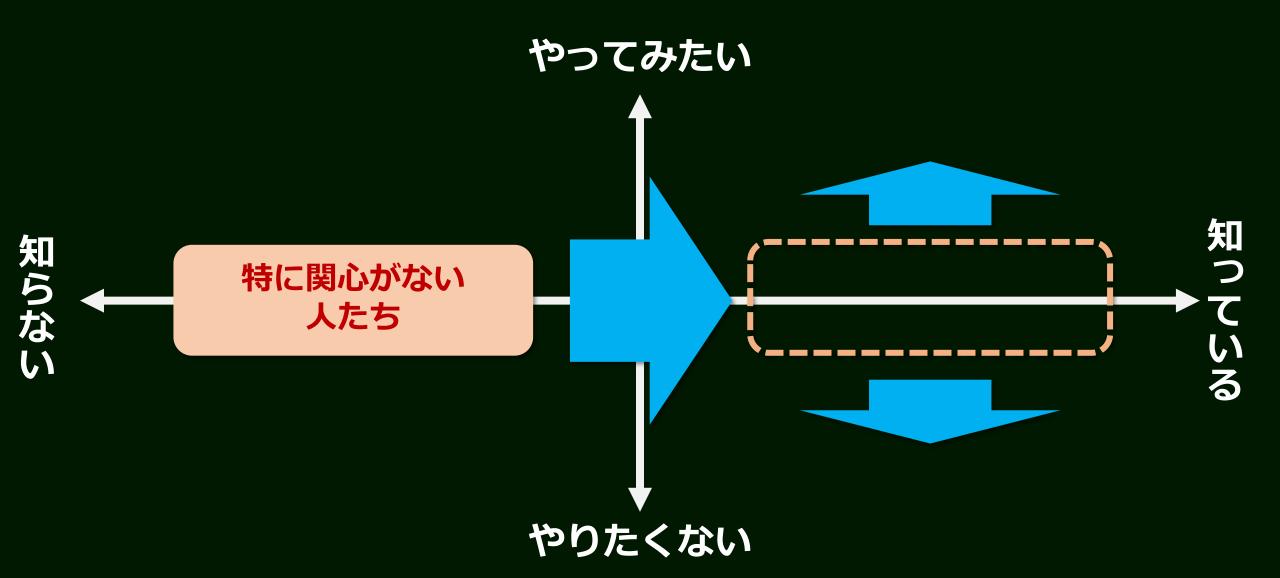
興味を持つためには、まず知る必要がある



知ってもらうのはWhyとWhat



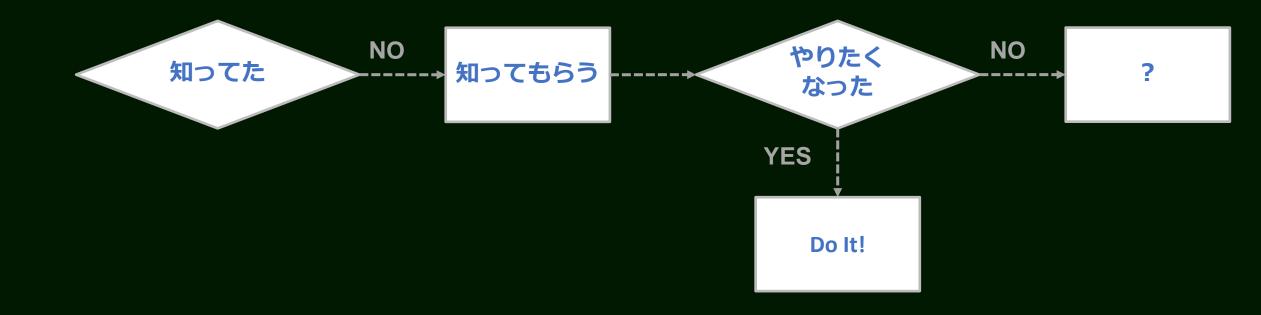
知った上で判断してもらう



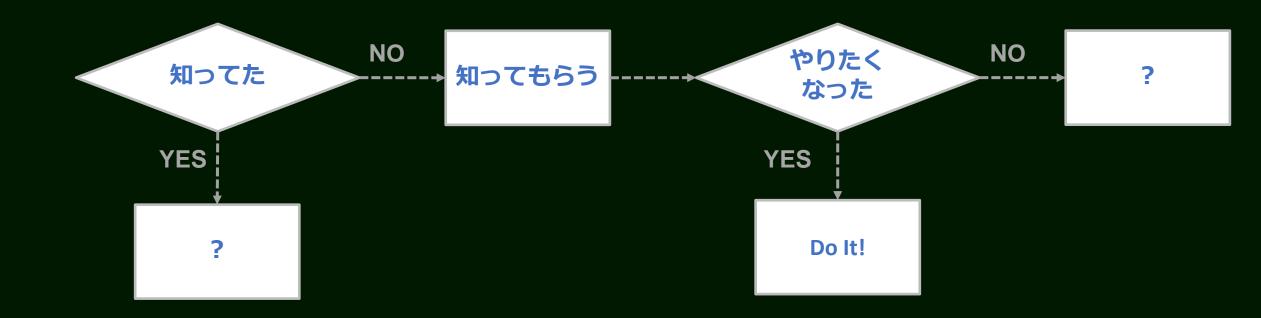
やりたくなったら、やってもらう



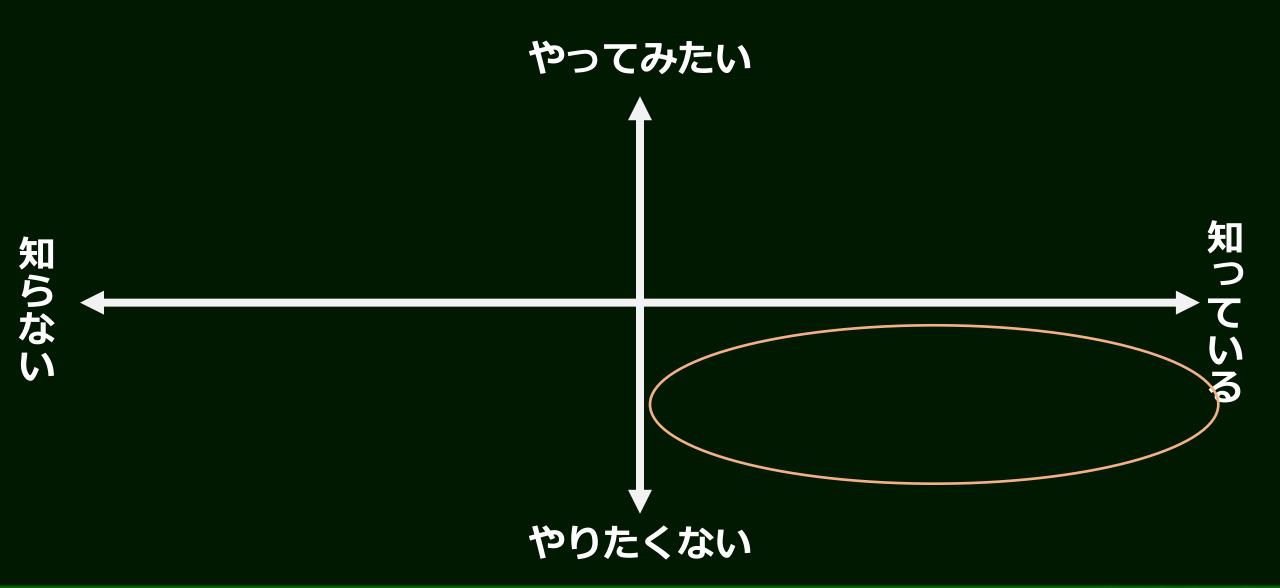
やりたくならないかもしれない



知ってるが意欲がない場合はどうするか



この象限にいる人たちが置かれている状況



「無関心」と「失敗の記憶」

- 知っているが自分の興味関心と直交している
- 過去、挑戦したことがあるがうまくいかなかった。
 - その記憶が残り、挑戦へのハードルが高くなっている

初めてやったことは失敗しやすい

意識的&無意識的有能教えることができる

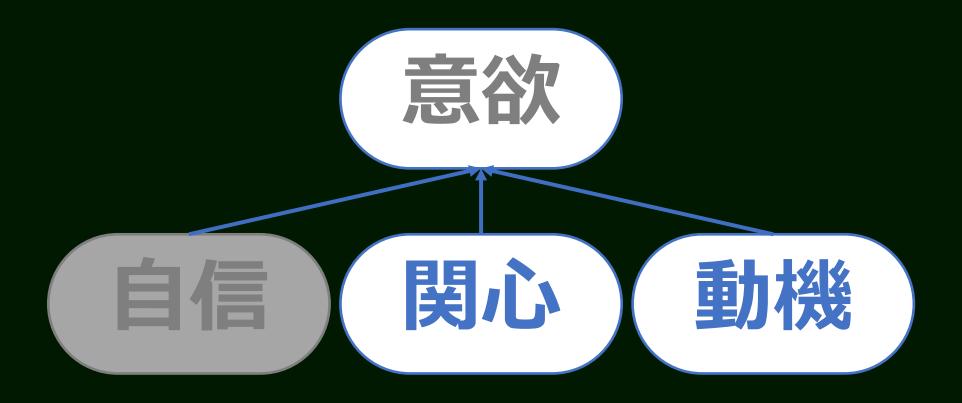
無意識的有能考えなくてもできる

<u>意識的有能</u>考えるとできる

<u>意識的無能</u> 知っていてもできない

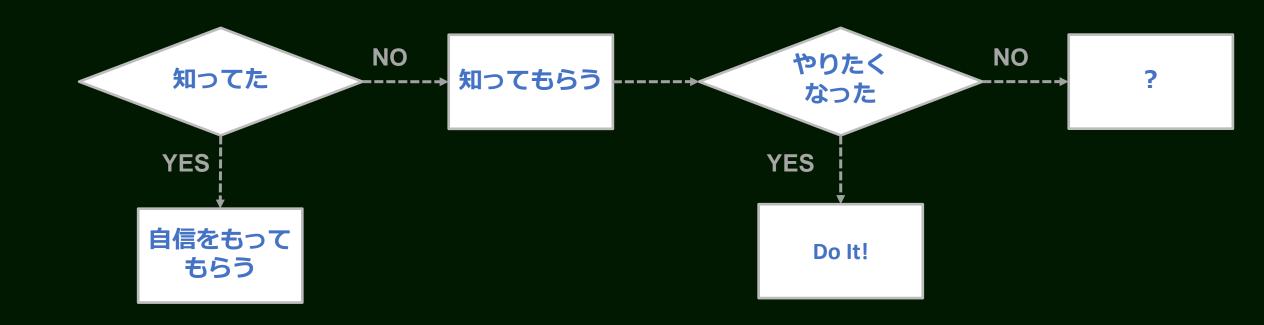
無意識的無能 知らないしできない

失敗した経験があるゆえに自信がない

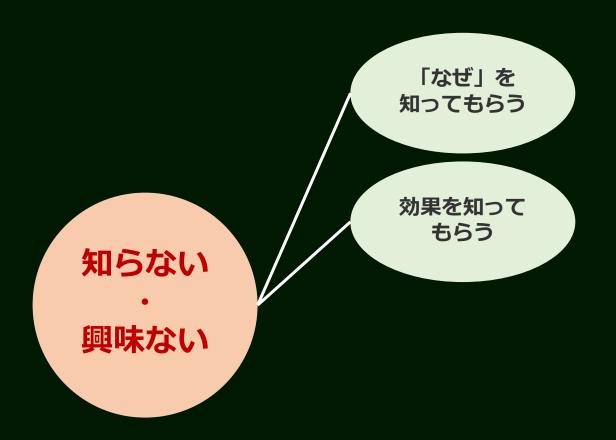


過去に受講したSL(シチュエーショナルリーダーシップ)理論研修のメモより抜粋

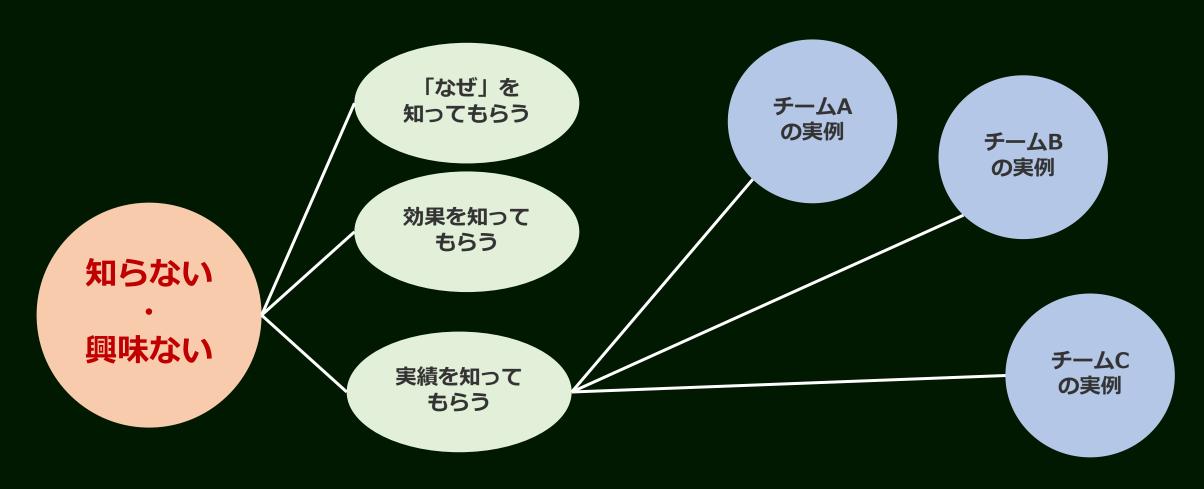
自信をもってもらうことが意欲につながる



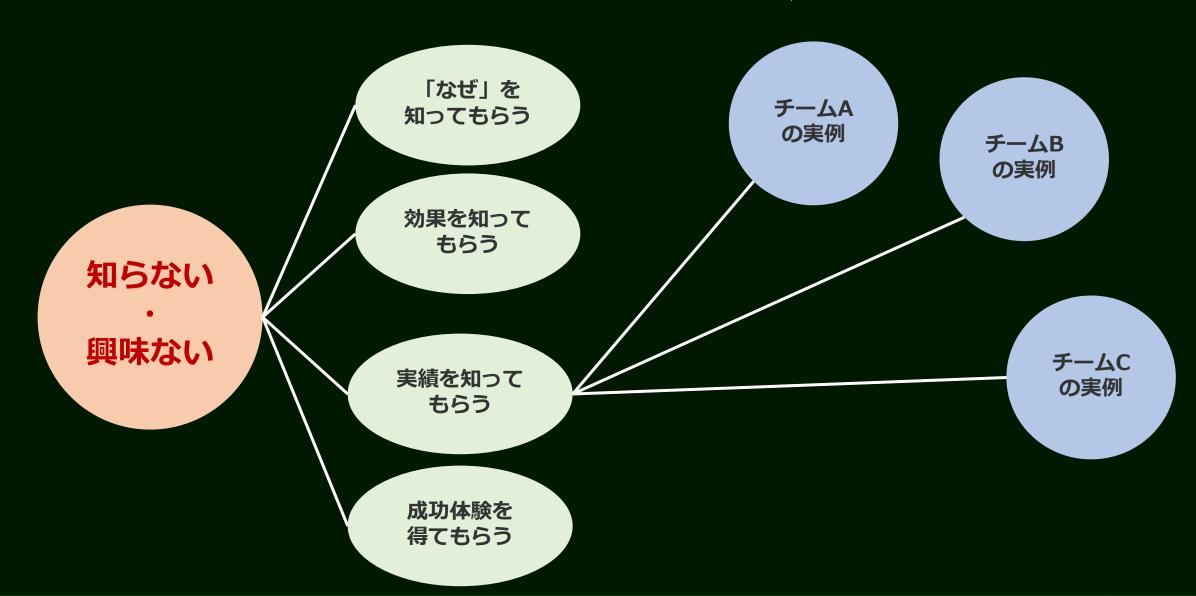
Why/Whatだけでは自信は湧いてこない



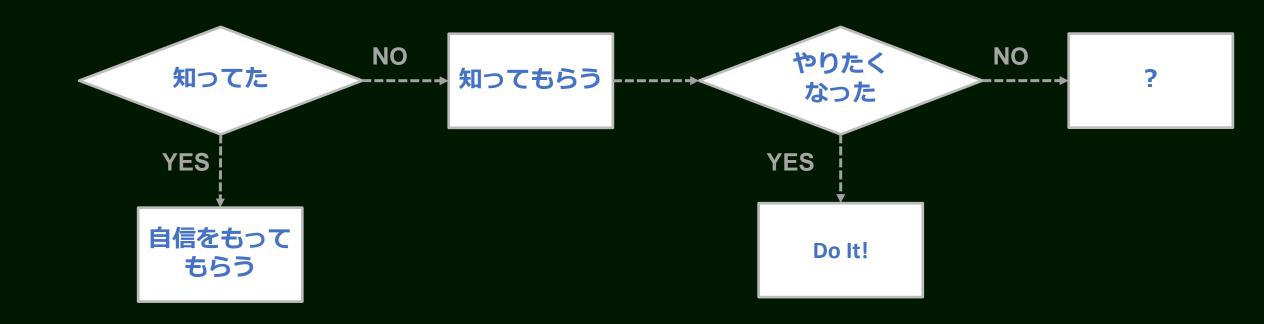
近い現場の成功事例に至るプロセスは響く



自身の成功体験は間違いなく自信になる



どうやったら自信をもってもらえるか



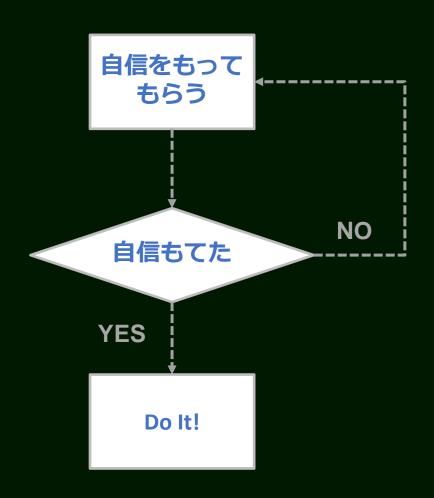
目標が達成されることを示す主要な結果は何か考える

過去に失敗体験がある人が 自信を取り戻し 再び挑戦できるようになる 社内の成功事例を N件集める

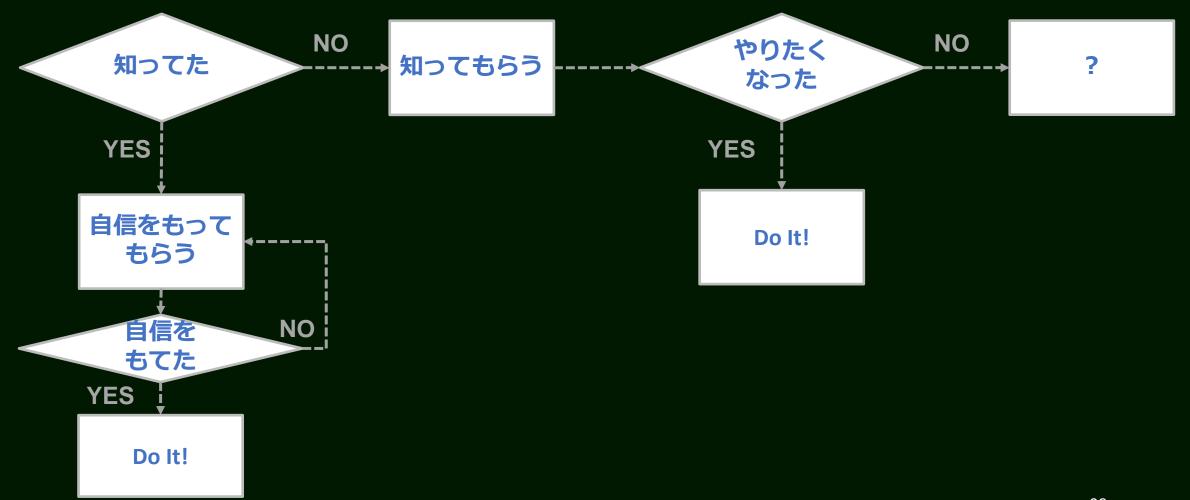
研修プログラムを作り 実施する

失敗ケースをリカバー できる人材を X名育てる

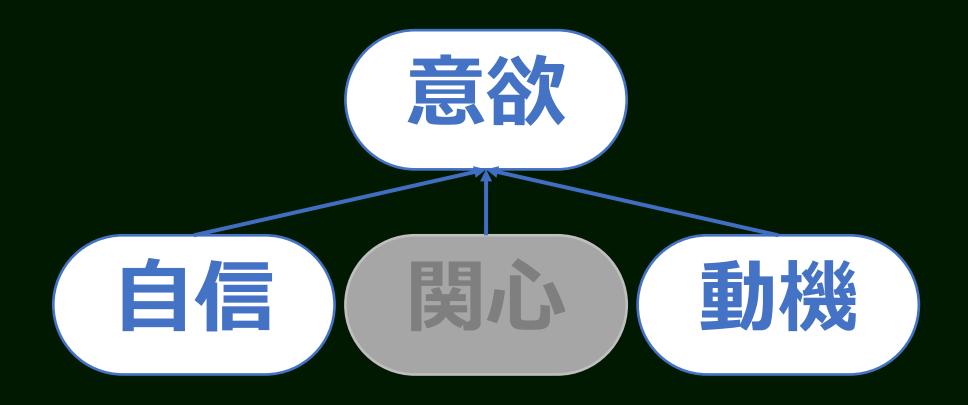
一度うまくいかなくても、あきらめない



やりたくならない人はどうする?

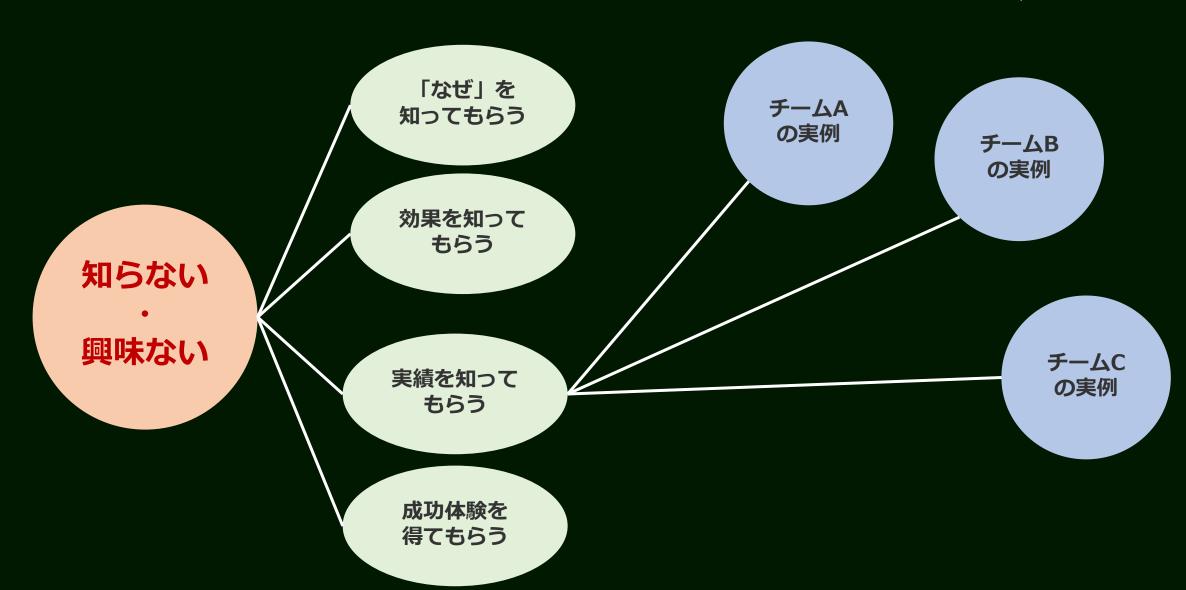


関心がない人へのアプローチ

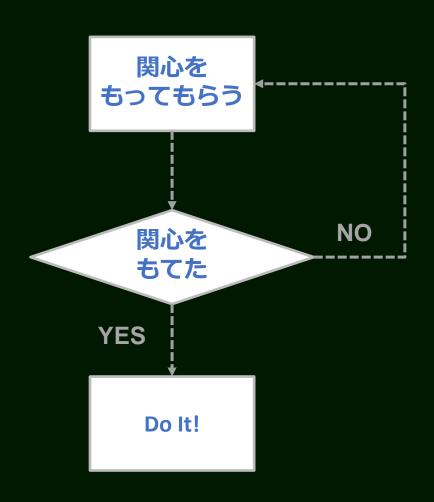


過去に受講したSL(シチュエーショナルリーダーシップ)理論研修のメモより抜粋

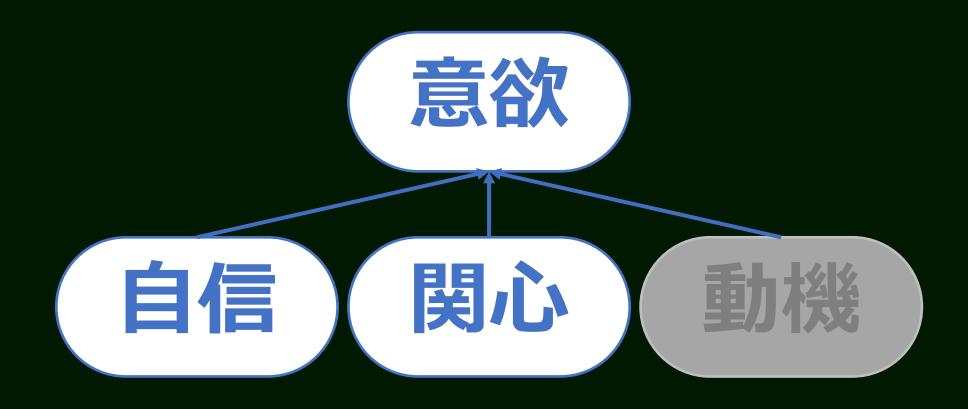
近い現場の成果に紐づいた実例は響く



一度うまくいかなくても、あきらめない



動機がない人へのアプローチ

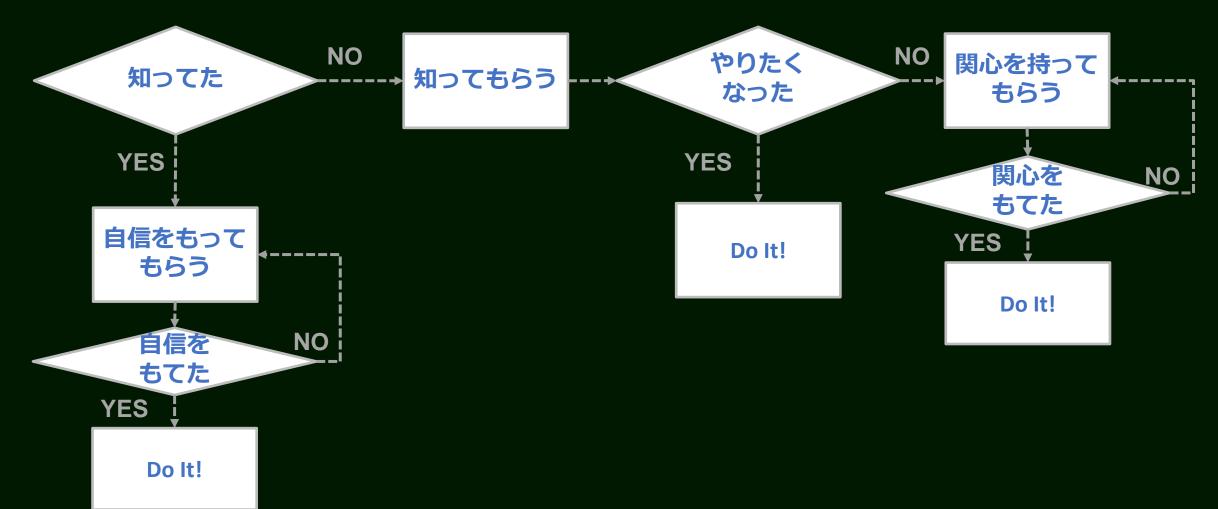


過去に受講したSL(シチュエーショナルリーダーシップ)理論研修のメモより抜粋

動機がない人は無理に動かさなくていい

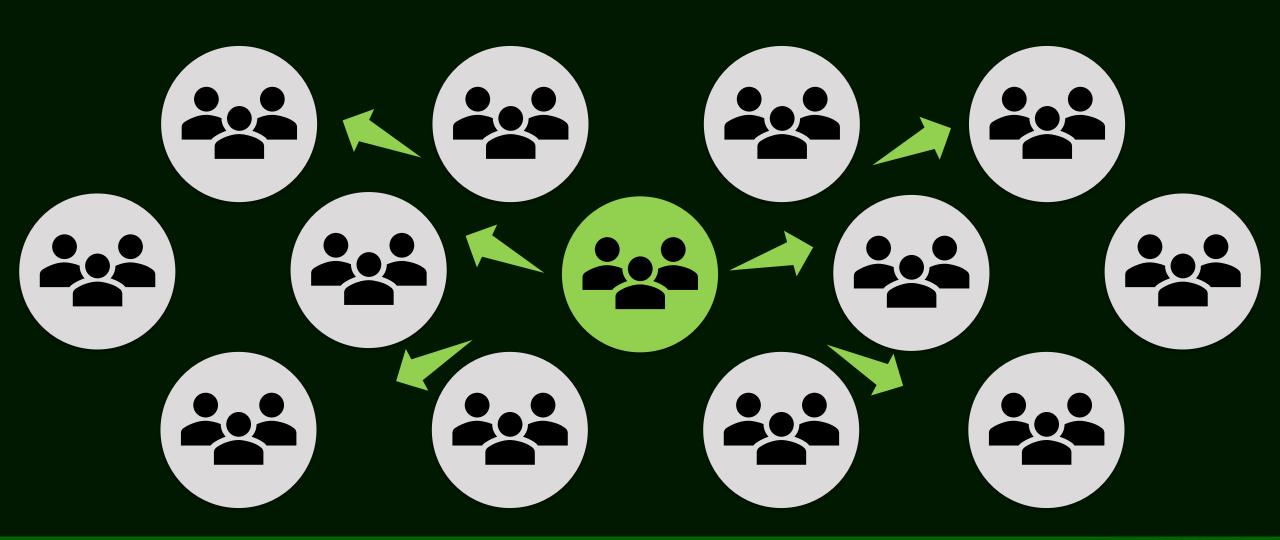
- 「関心がない」ケースは、関心はないがその人にとってプラスである可能性がある
- 関心はあるが動機がないのであれば、今はその時ではない

きっといつか意欲を持ってもらえる



ふりかえります

新しいことを進めていると、 「時間がない」という言葉と出会います



「時間がない」という言葉が指す状態はおおおまかにいって3つあります

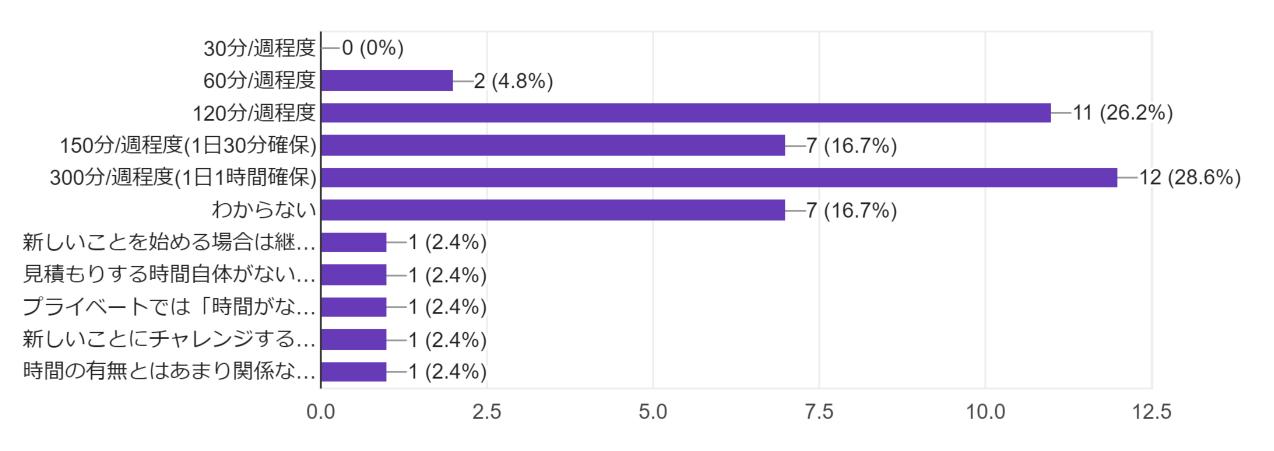
文字通り時間がとれない

時間をかけてよいか わからない

> それに対する 意欲がない

情報公開を促し真の課題を知りましょう

42 件の回答



まずは表出している1つの「真の課題」 に集中しましょう

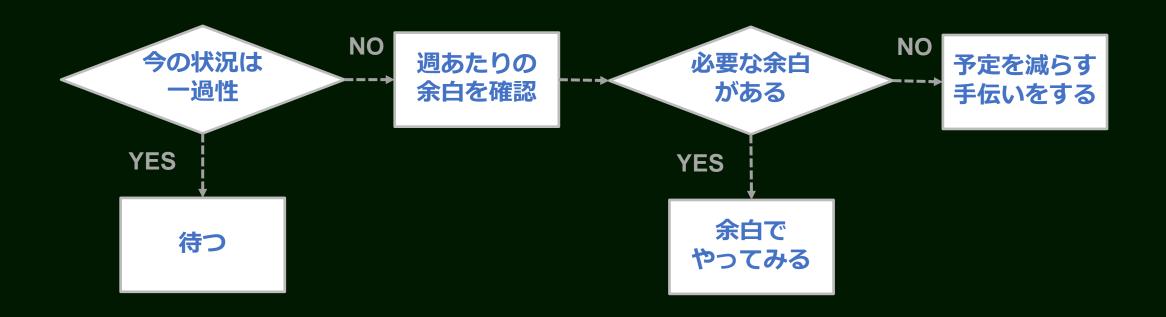
文字通り 時間がとれない

時間をかけてよいか わからない

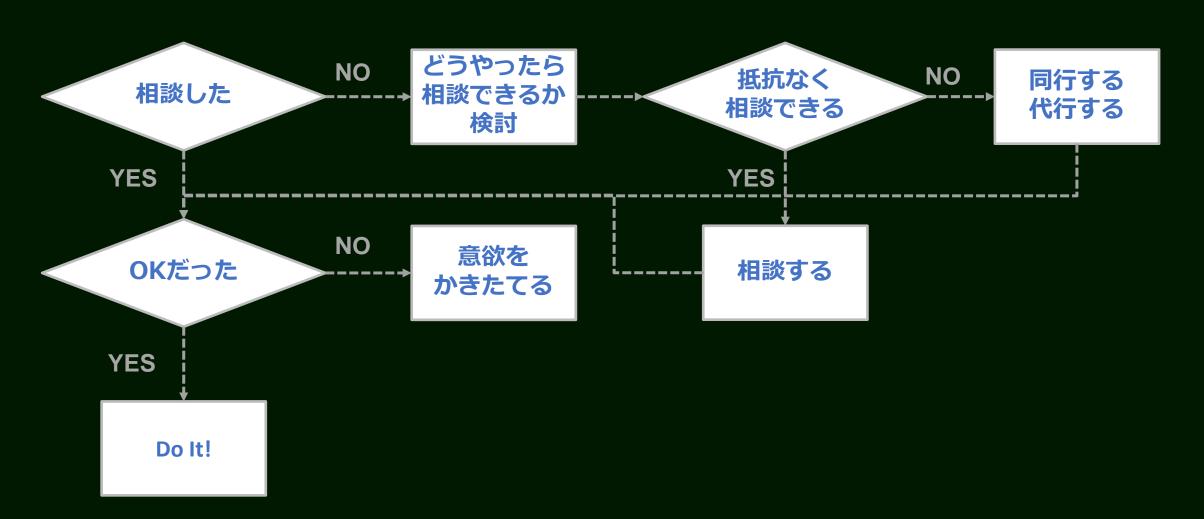
> それに対する 意欲がない

絞り込んでアプローチ

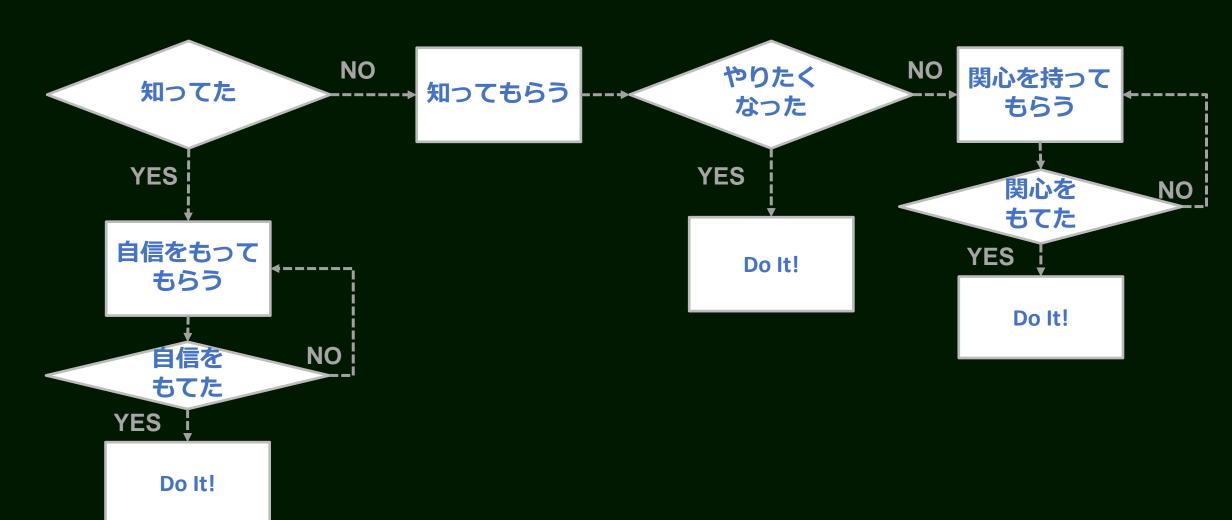
予定を減らす手伝いをしてみましょう



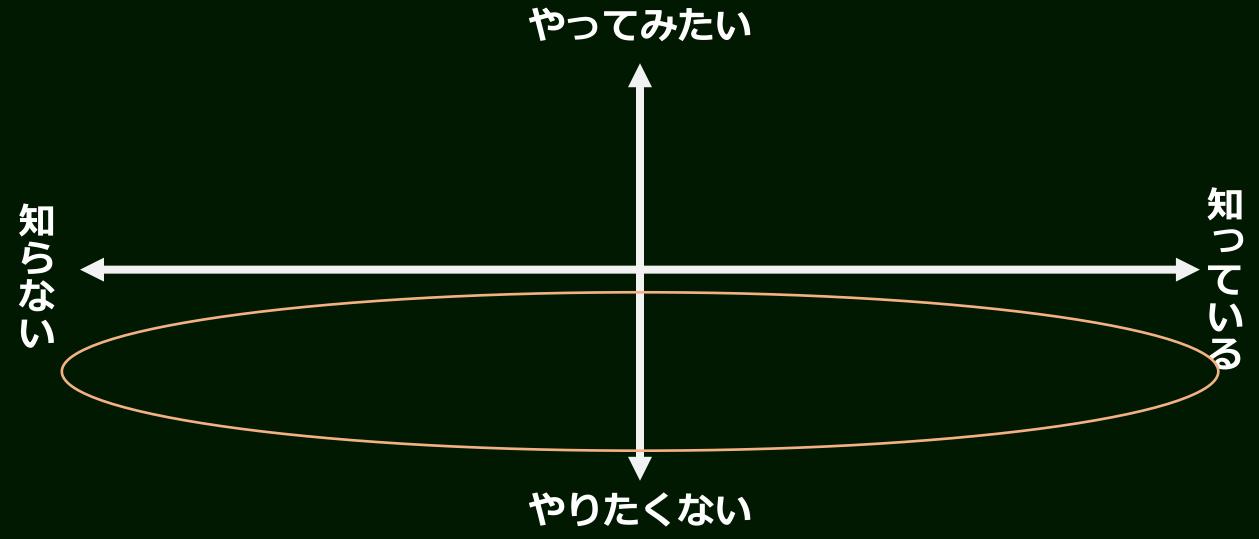
意思決定者への相談をサポートしましょう



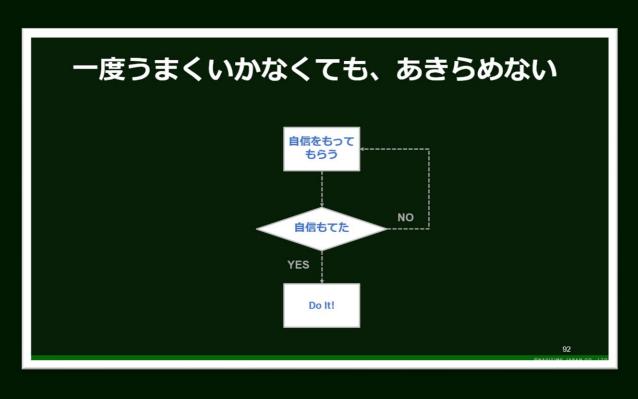
意欲をもってもらえるよう働きかけましょう

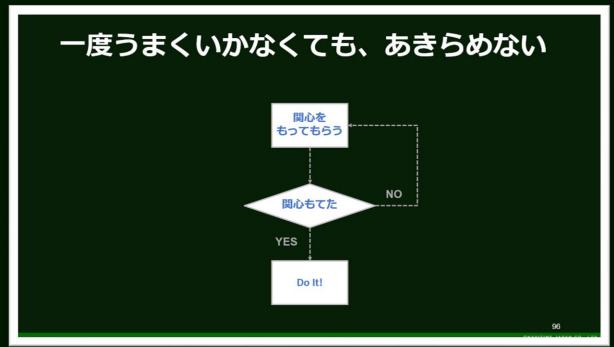


無関心と向き合うときがあります。 尊敬の念を持って接し、働きかけましょう

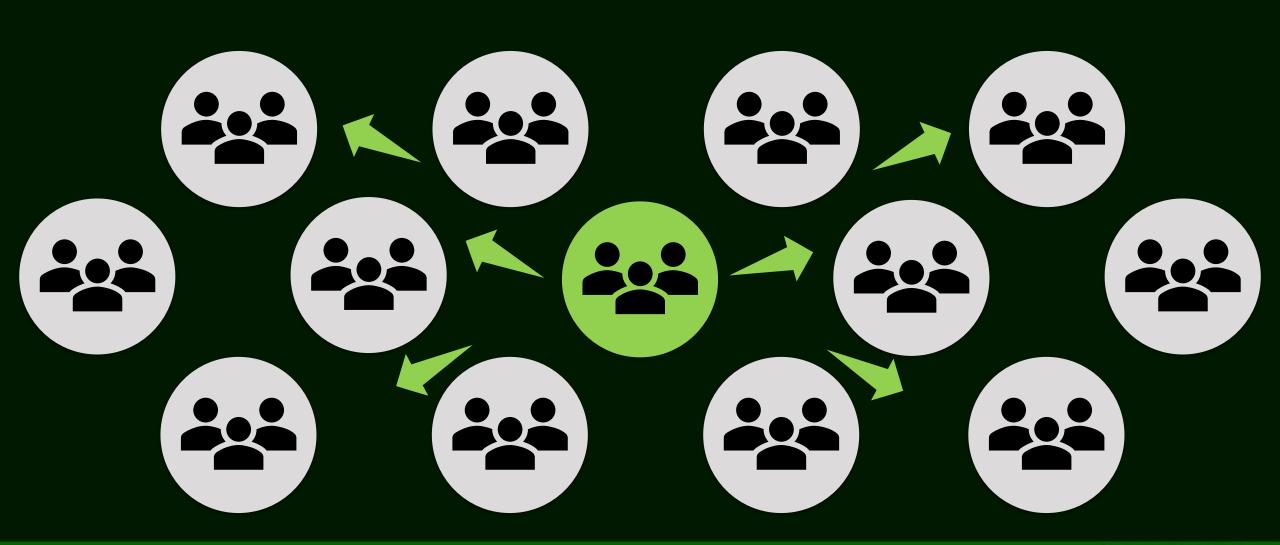


コミットメントしたからには、 一度うまくいかなくてもあきらめない。





あなたの変化への勇気が、「時間がない」 を超える原動力になります。



Thank you!